地図の❶～❽の地点に
昔ながらの草原の

『草小積み』（くさこづ）を再現しています

（2023年10月～2024年2月頃まで）

阿蘇地域世界農業遺産推進協会事業
「草小積み再生プロジェクト」

❶ 大観峰近くの草原

（ミルクロード沿い）
扇谷展望所の駐車場に面した一角にあります。北外輪山に多いネザサが主体の草小積みで小倉・西小倉両区の皆さんが協力して製作されました。
Ⓟなし

❷ 城山展望所近く

（やまなみハイウェイ沿い）
城山展望所からくじゅう方面にむけて少し走ると右手にあります。三閑（さんが）牧野組合の皆さんが作られた草小積みです。 Ⓟあり

❸ 箱石峠近くの草原

電波塔が建っている展望のよい場所にあります。
町古閑（まちこが）牧野組合の皆さんと東海大学生が一緒に作りました。Ⓟ国道から電波塔側へ上るとあり

❹ 265号沿いの草原

阿蘇市と高森町を結ぶ国道265号沿いに設置しています。
地元農家の釣井さんと安片さんが協力して製作されました。 Ⓟなし

❺ 尾下の草原

高森町尾下片山地区の町道に面した草原に設置しています。地元農家の古澤さんご一家が製作されました。
Ⓟなし

❻ らくだ山のふもと

月廻り公園向かい、らくだ山の麓に設置しています。村山牧野組合の皆さんとワーケーション体験会に参加された方々が一緒に製作しました。
Ⓟなし

❼ 南阿蘇桜公園内

アスペクタに隣接した公園の一角にあります。２基の内、1基は夫婦桜の近くに設置しています。南阿蘇桜公園管理組合の皆さんが製作されました。Ⓟあり

❽ 俵山交流館萌の里駐車場

交流館敷地内の砂利駐車場に面した野原に設置しています。
小森原野組合の皆さんが製作されました。となりに草泊まりもあるので入ってみてください。Ⓟあり

※運転中のよそ見はたいへん危険です。見学は車を停めて行ってください。
【お願い】草原（牧野内）へは関係者以外の方は立ち入れません。柵の中には入らないでください。

2023年11月発行　【事務局】公益財団法人 阿蘇グリーンストック
☎0967-32-3500

阿蘇の草原文化を継承するために

『草小積み再生プロジェクト』

「草小積み」を知っていますか？

草小積みとは、秋に草原の草を刈り、乾燥させた干し草を束にまとめ、積み上げたもの。昔ながらの草の保存方法で、農家は必要に応じて干し草を里へ持ち帰り、冬の間畜舎でくらす牛馬のエサや敷料に使いました。そして最後は堆肥にして田畑に施しました。

今、草小積みが阿蘇の風景から消えようとしています

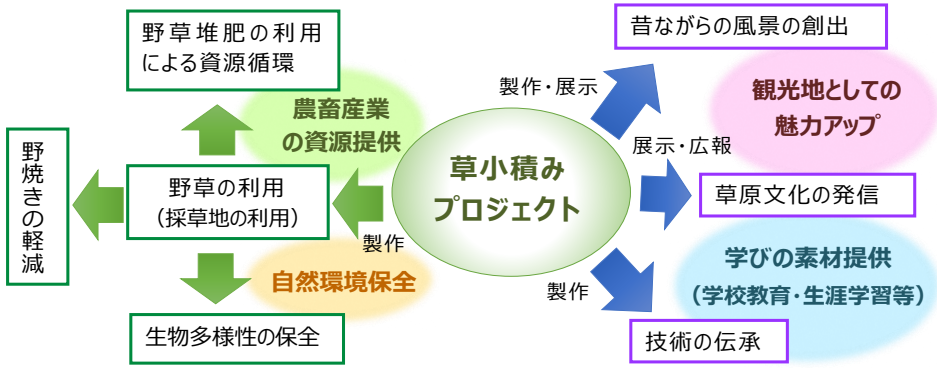
昭和 40 年代頃まで、晩秋の草原では多くの草小積みが見られました。しかし近年、牛馬の数が減って干し草の需要が減るとともに、草刈り機の大型化や輸送の発達で、農家が草小積みを作る必要性は低くなりました。そのため、草小積みを見る機会は少なくなり、作れる人も減ってきています。

それはとりもなおさず、長い歴史の中で培ってきた、草原を使う先人の知恵と技が失われることを意味しています。そこで平成 28 年度（2016 年度）、阿蘇地域世界農業遺産推進協会の事業として、

『草小積み再生プロジェクト』がスタートしました。

草小積み再生プロジェクトがめざすもの

草小積みの元々の役割は冬期の干し草保存で、草を利用する人々の知恵でもありました。かわって現代、草小積みづくりには下図のような新たな価値や効果が見出されています。これらの価値や効果を共有する人々の間で新たな協働の可能性があると考えられます。



阿蘇地域世界農業遺産推進協会事業
＜草小積み再生プロジェクト事務局＞
公益財団法人 阿蘇グリーンストック
〒869-2307 阿蘇市小里 656－1 ☎0967－32－3500